

2010年12月期 第2四半期決算説明会

株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント

<http://corp.jac-recruitment.jp>

2010年8月18日



I 2010年12月期上半期決算概要と マーケット分析

II 上半期の取り組みとその結果

III 今後の取り組みと通期業績見通し

IV その他参考資料

I-1 2010年12月期上半期決算実績

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

08年12月期上半期(1~6月)以来2年ぶり、リーマンショック後初の営業利益を計上

(単位:百万円)

	09年12月期 1~6月	10年12月期 1~6月	前年同期 差額	前年同期比
売上高	2,351	2,104	△ 247	89.5%
人材紹介事業	2,096	1,952	△ 144	93.1%
人材派遣事業	254	152	△ 102	59.8%
売上総利益	2,154	1,980	△ 174	91.9%
営業利益(損失)	△ 505	267	772	—
経常利益(損失)	△ 499	271	770	—
純利益(損失)	△ 501	256	757	—

I-2 人材紹介事業の推移

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

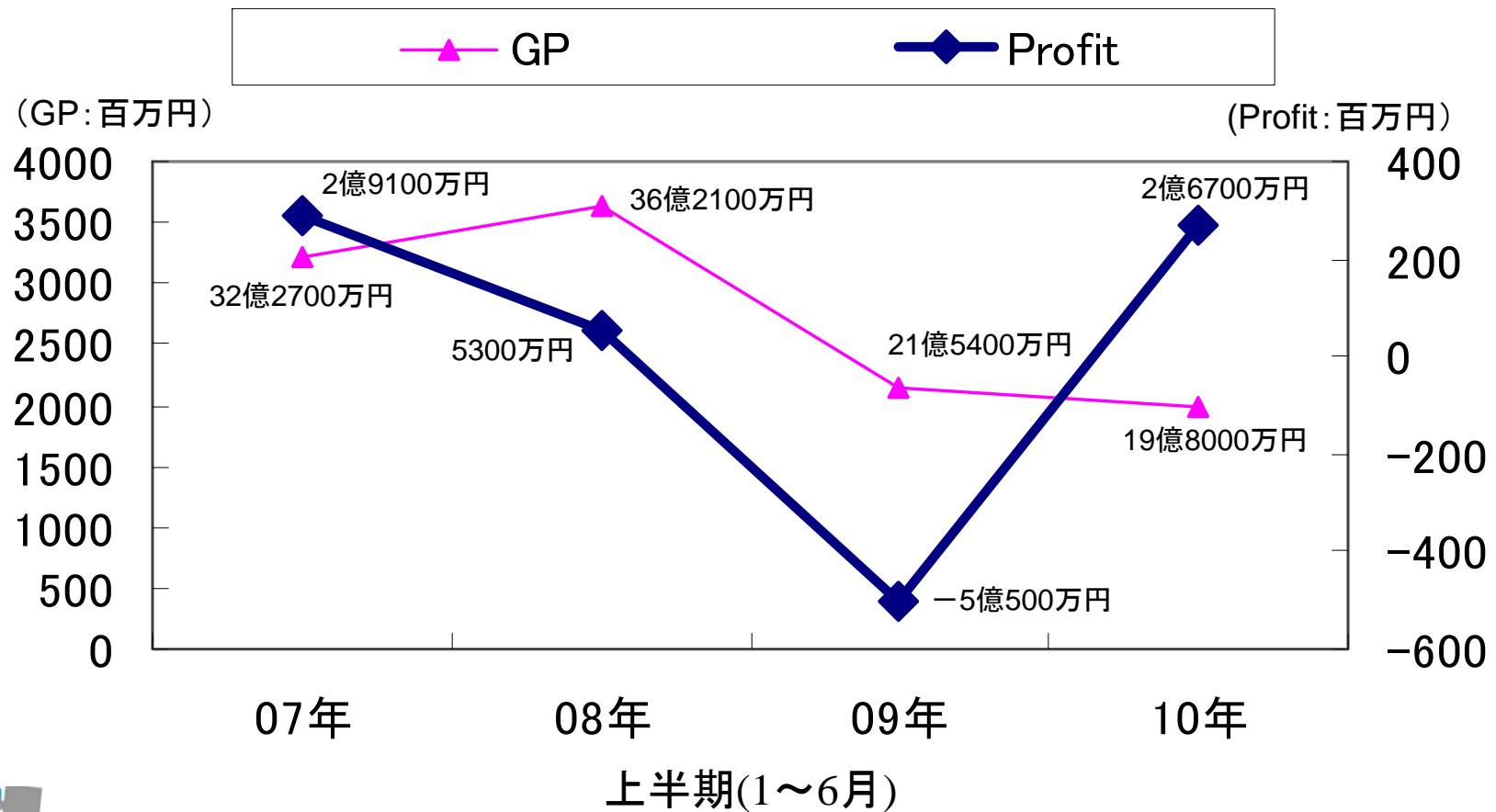
営業一人当たりの生産性91%アップ

	09年12月期 1~6月	10年12月期 1~6月	前年同期 差額	前年同期比
売上総利益(百万円)	2,086 百万円	1,940 百万円	146百万円減	93%
要員数(期中平均)	439 人	260 人	179人減	59%
月平均成約額/人(万円)	68 万円	130 万円	62万円増	191%

I -3 売上総利益(GP)と営業利益(Profit)の推移

I . 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

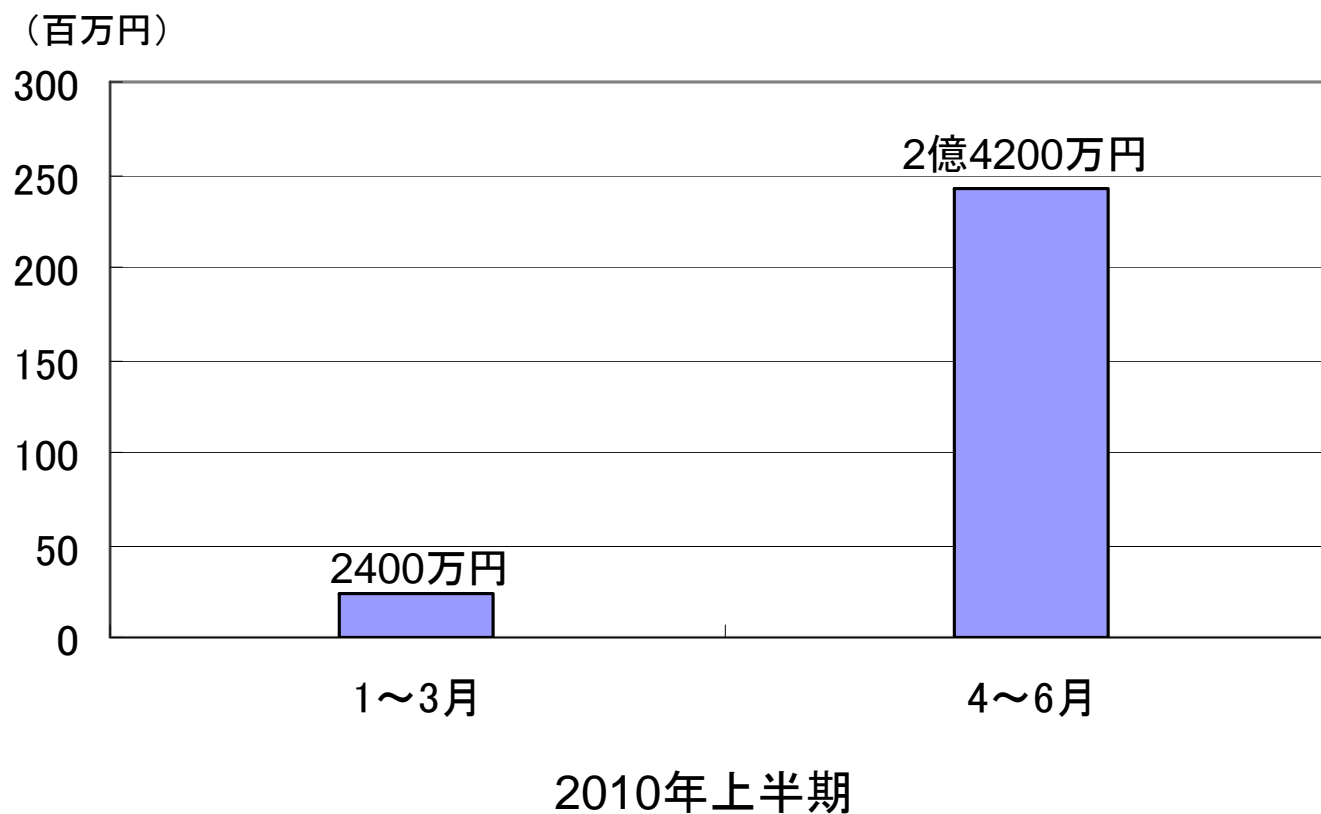
07年上半期(1~6月)レベルのProfitを確保



I-4 上半期(1~6月)の営業利益(Profit)

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

4~6月にProfitが大きく伸びる



I-5 貸借対照表概要

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

科目	09年12月期末		10年12月期上半期末		差異 (百万円)	差異の要因
	(百万円)	構成比(%)	(百万円)	構成比(%)		
流動資産	1,007	60.4	1,347	69.7	+340	
現金及び預金	629	37.7	1,001	51.8	+372	利益分を反映し増加
売掛金	224	13.4	259	13.4	+35	
固定資産	659	39.5	548	28.4	-111	
有形固定資産	183	11.0	147	7.6	-36	
無形固定資産	105	6.3	90	4.7	-15	
投資その他の資産	369	22.1	346	17.9	-23	
資産合計	1,667	100.0	1,932	100.0	+265	
流動負債	398	23.9	405	21.0	+7	
固定負債	—	—	—	—	—	
負債合計	398	23.9	405	21.0	+7	
株主資本合計	1,268	76.1	1,527	79.0	+259	
負債・純資産合計	1,667	100.0	1,932	100.0	+265	

I-6 キャッシュ・フローの状況

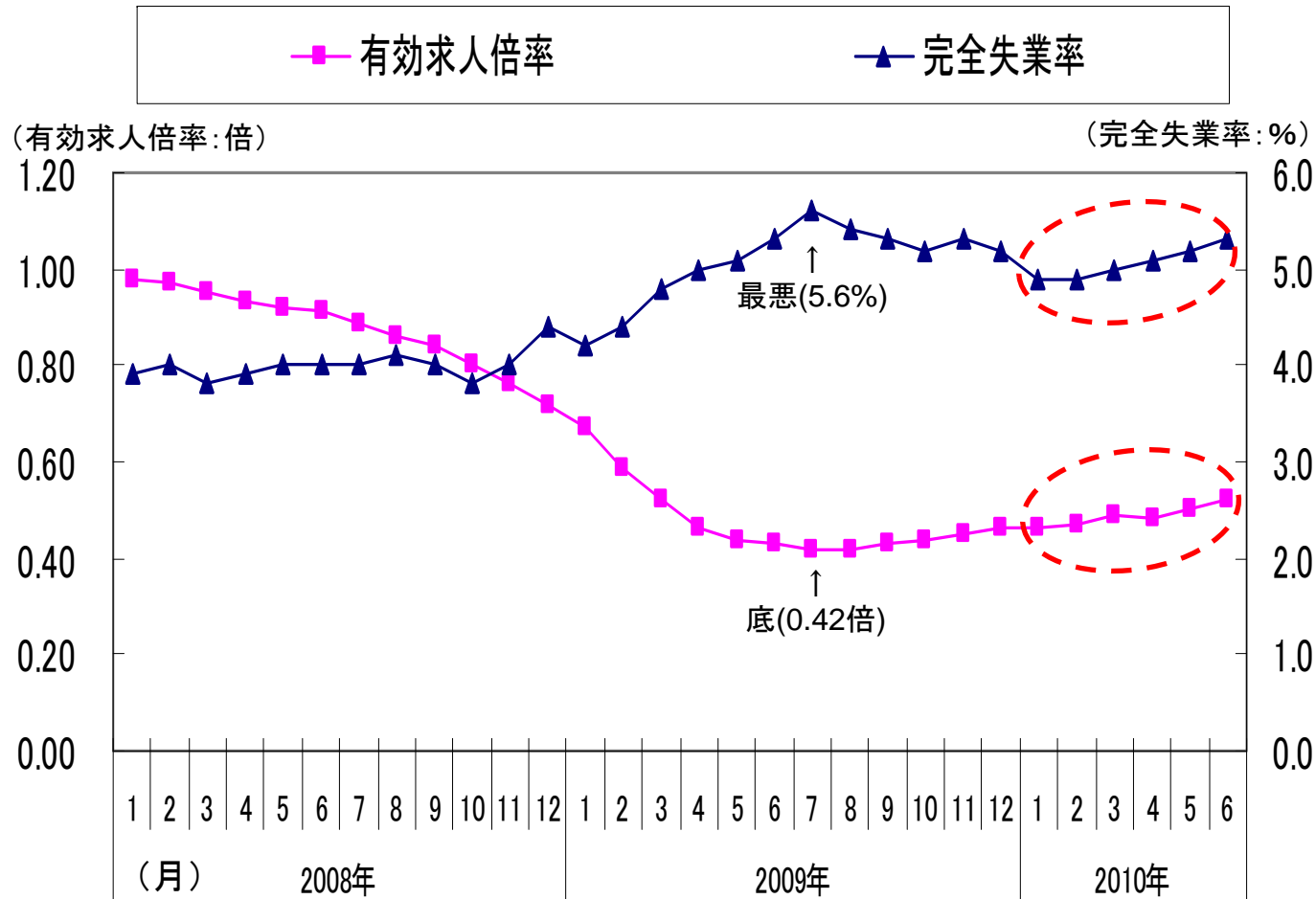
I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

(単位:百万円)

区 分	09年12月期 上半期	10年12月期 上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△863	373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	1
現金及び現金同等物の上半期末残高	820	1,001

I-7 有効求人倍率と完全失業率の変化

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析



有効求人倍率は08年のレベルにはほど遠い状況であり、09年秋以降わずかに上昇傾向

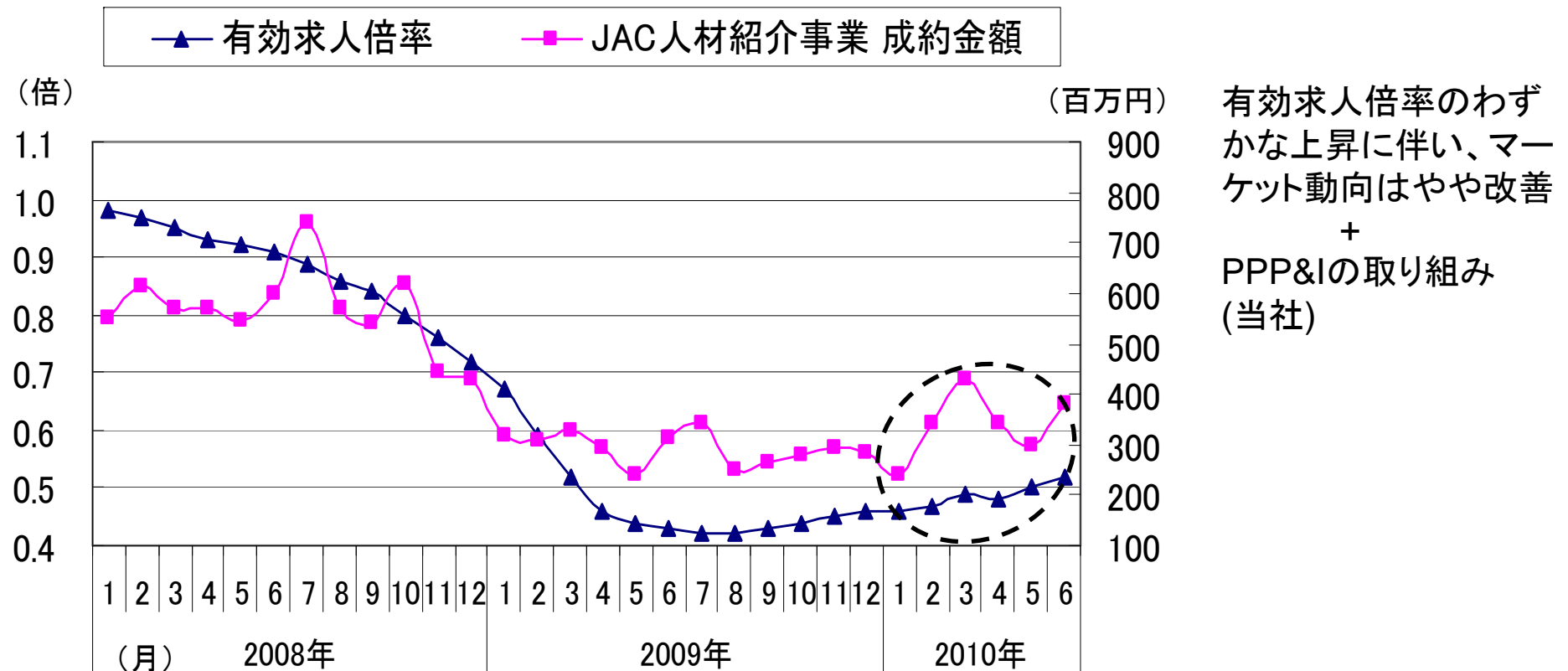
完全失業率も09年夏からわずかに回復したが、まだ不安定な状況は変わらず

(出所) 有効求人倍率(季節調整値): 厚生労働省、完全失業率(季節調整値): 総務省

I-8 当社人材紹介事業の月次成約金額推移

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

有効求人倍率と月次成約金額の推移

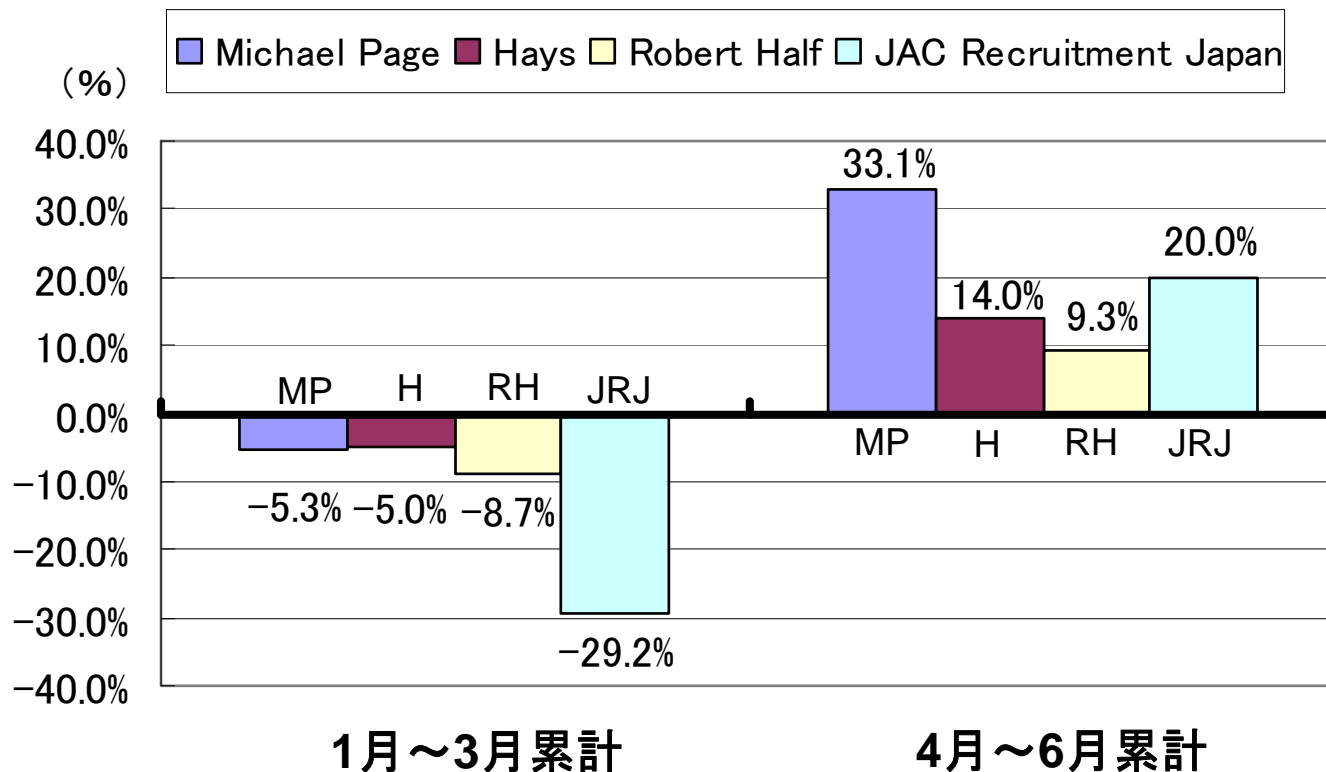


(出所) 有効求人倍率(季節調整値): 厚生労働省

I -9 世界の人材紹介会社と当社の業績(09～10年)

I . 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

2010年1月～3月累計・4月～6月累計の売上総利益(GP)前年同期比

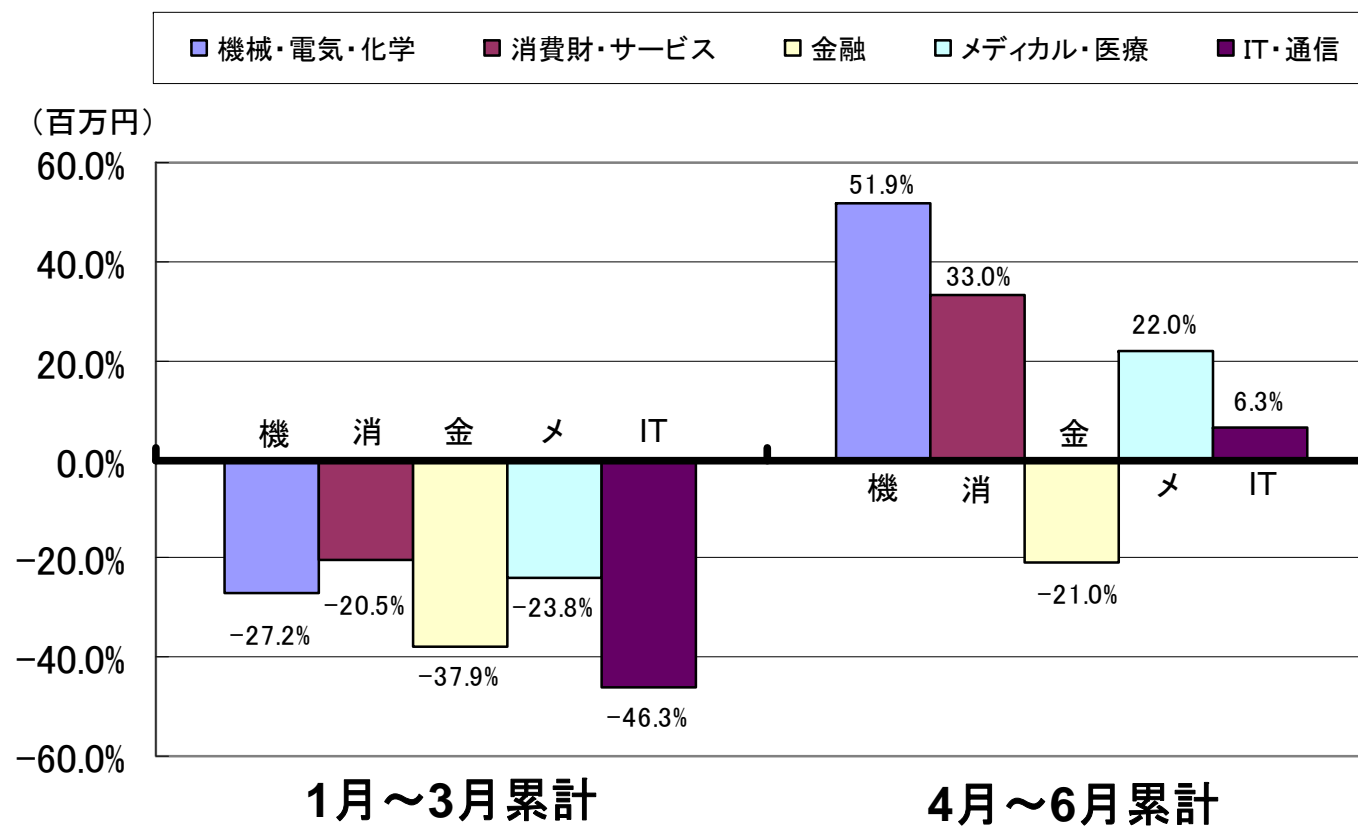


各社(JAC以外は worldwideの業績)
 2010年4月～6月には
 前年同期比増へ転換
 ↓
 2010年上半期は
 世界的にも
 回復傾向

I-10 業界別売上高の前年同期比較

I. 2010年12月期上半期決算概要とマーケット分析

2010年1月～3月累計・4月～6月累計の売上高前年同期比



金融を除く各業界が4月～6月期に、前年同期の売上を大きく上回る



I 2010年12月期上半期決算概要と
マーケット分析

II 上半期の取り組みとその結果

III 今後の取り組みと通期業績見通し

IV その他参考資料

Ⅱ-1 上半期の取り組み

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

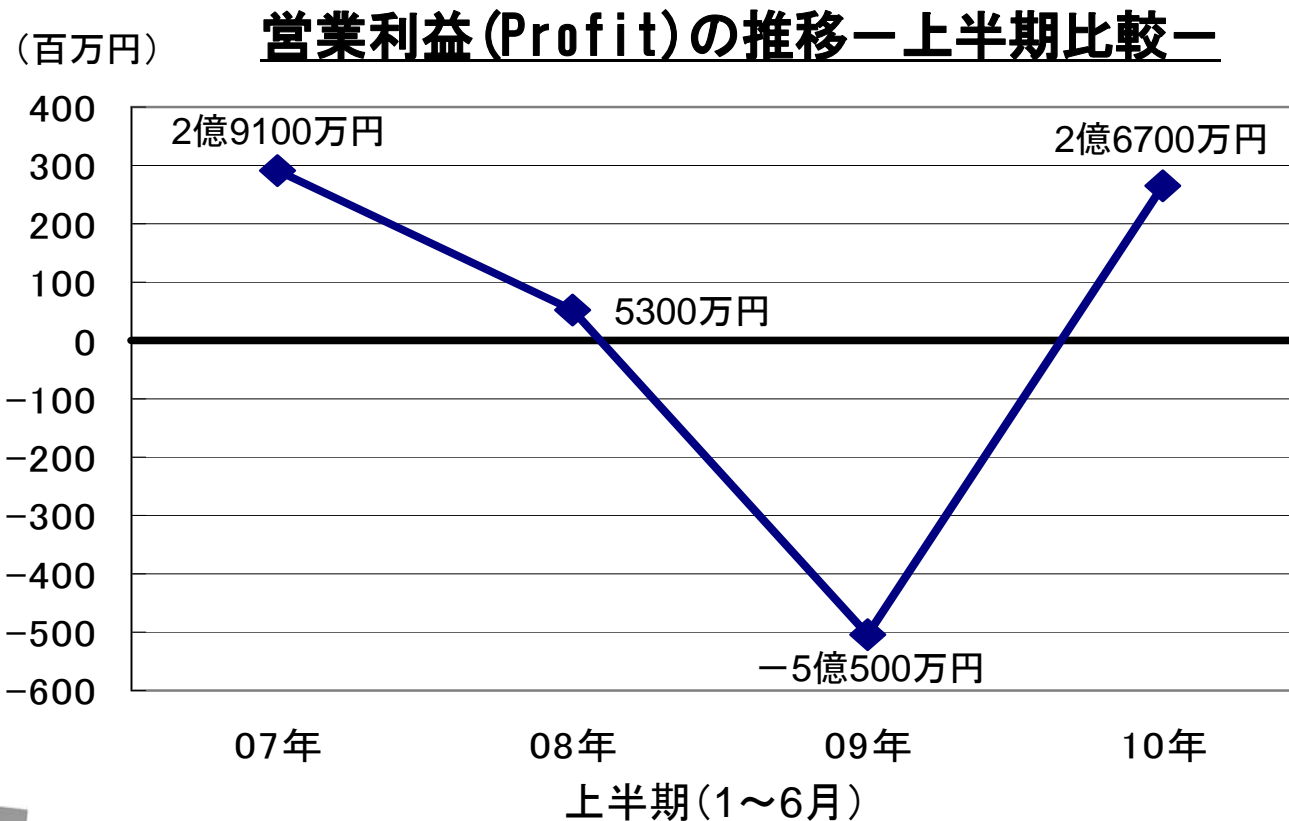
PPP & I を最重視した営業方針

1. Profitability（利益体質の確立）
2. Productivity（生産性の向上）
3. Professional（プロフェッショナルな集団）
4. International（国際領域事業の更なる強化）

Ⅱ-2 Profitability (1)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】最優先課題：利益体質の確立を目指す



08年上半期以来、2年ぶりに Profitを計上

本年のProfitは 07年上半期レベルに

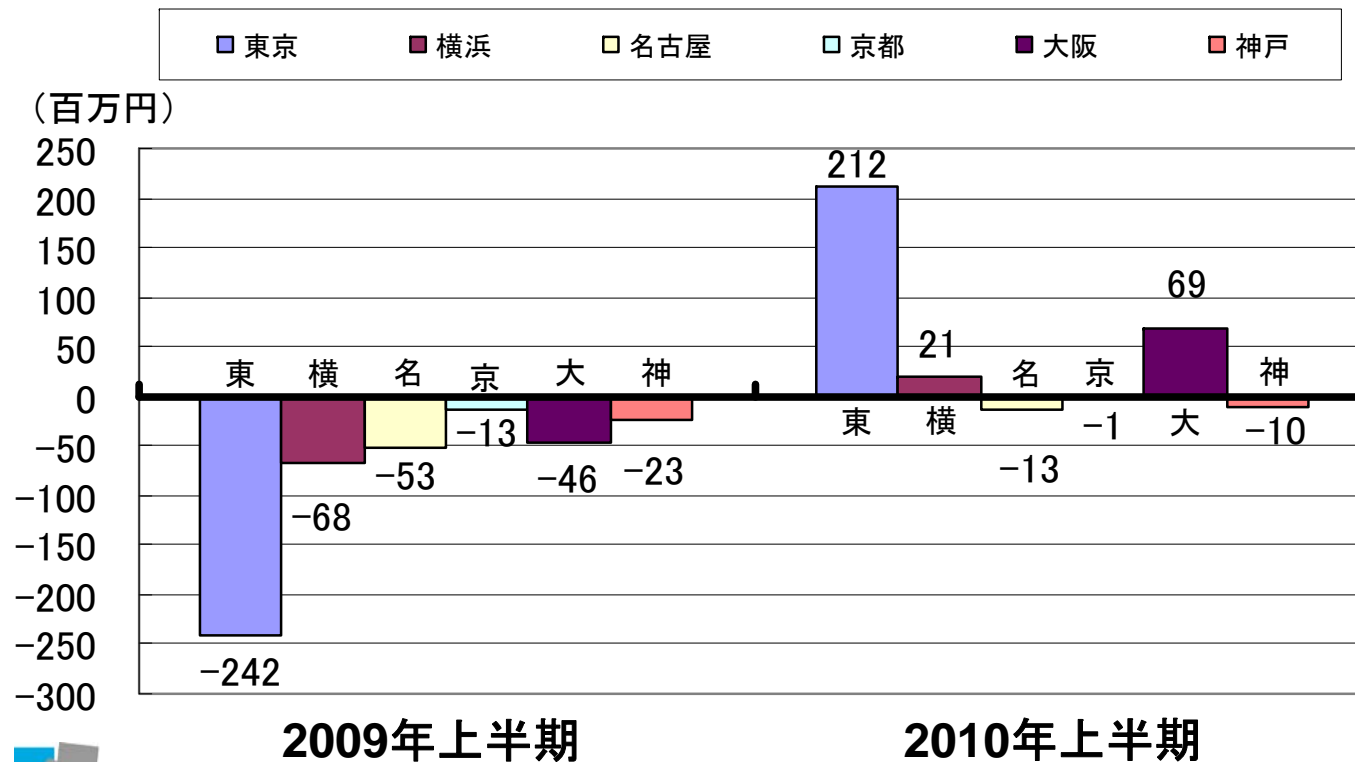
コストは厳格な コントロールを 継続し前年同 期比64%の水 準を維持

Ⅱ-3 Profitability (2)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】事業所毎に営業利益(Profit)が出る体制の確立

2009年・2010年上半期(1~6月)の事業所別損益比較



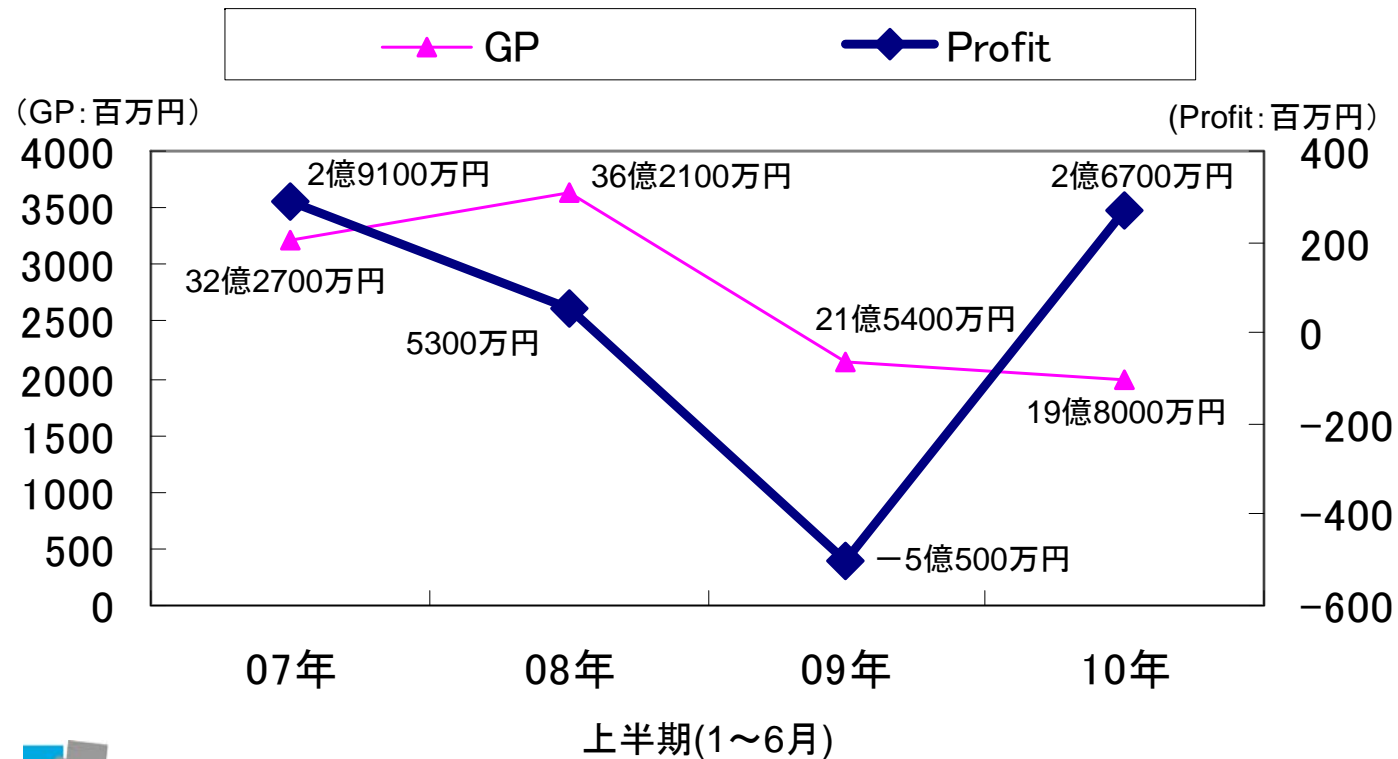
本年上半期は6拠点中3拠点が黒字に転換。赤字拠点も黒字へあと一步

前年同期比では全拠点の収支が改善

Ⅱ-4 Profitability (3)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】売上総利益 (GP)を落とさずに
高利益が出るモデル体制の確立(2010年度中)

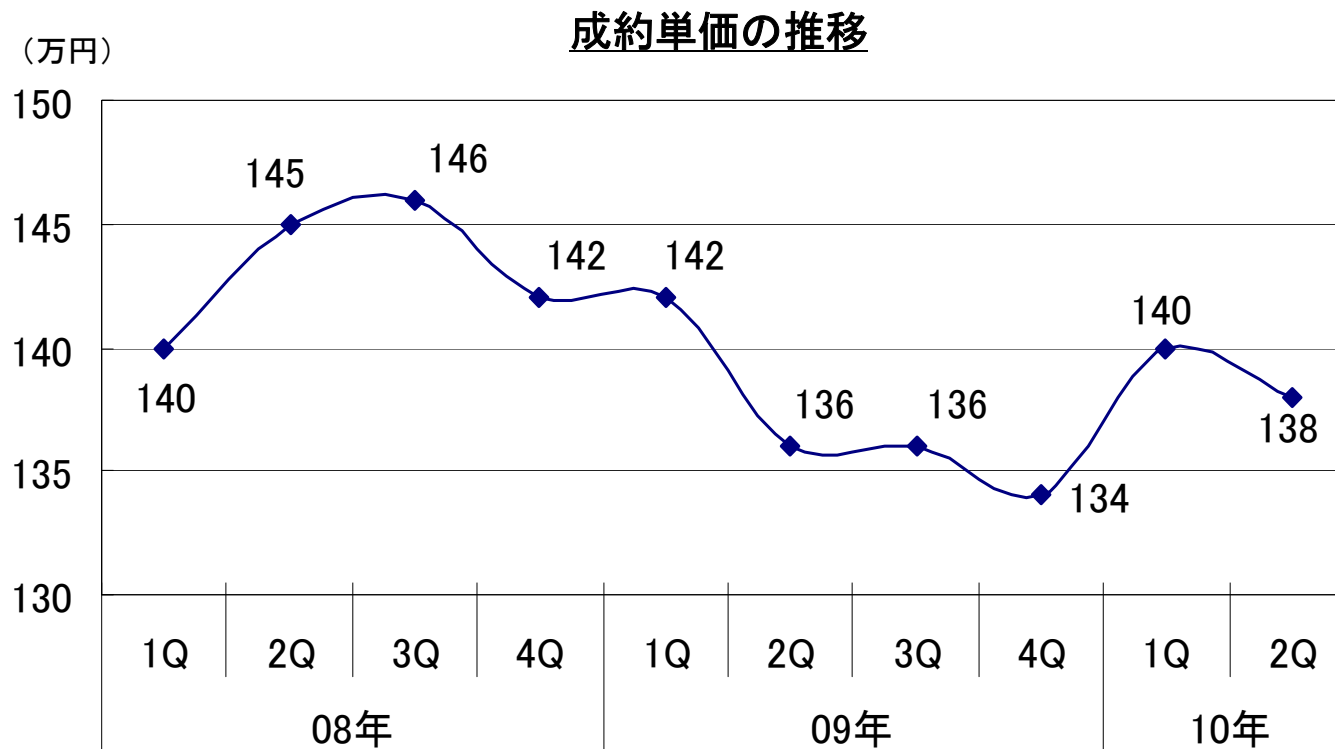


GPは09年上半期
比92%と若干減と
なるものの、Profit
は07年上半期レ
ベルを確保

Ⅱ-5 Profitability (4)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】単価(UNIT PRICE)を上げる(高額案件へのシフト)

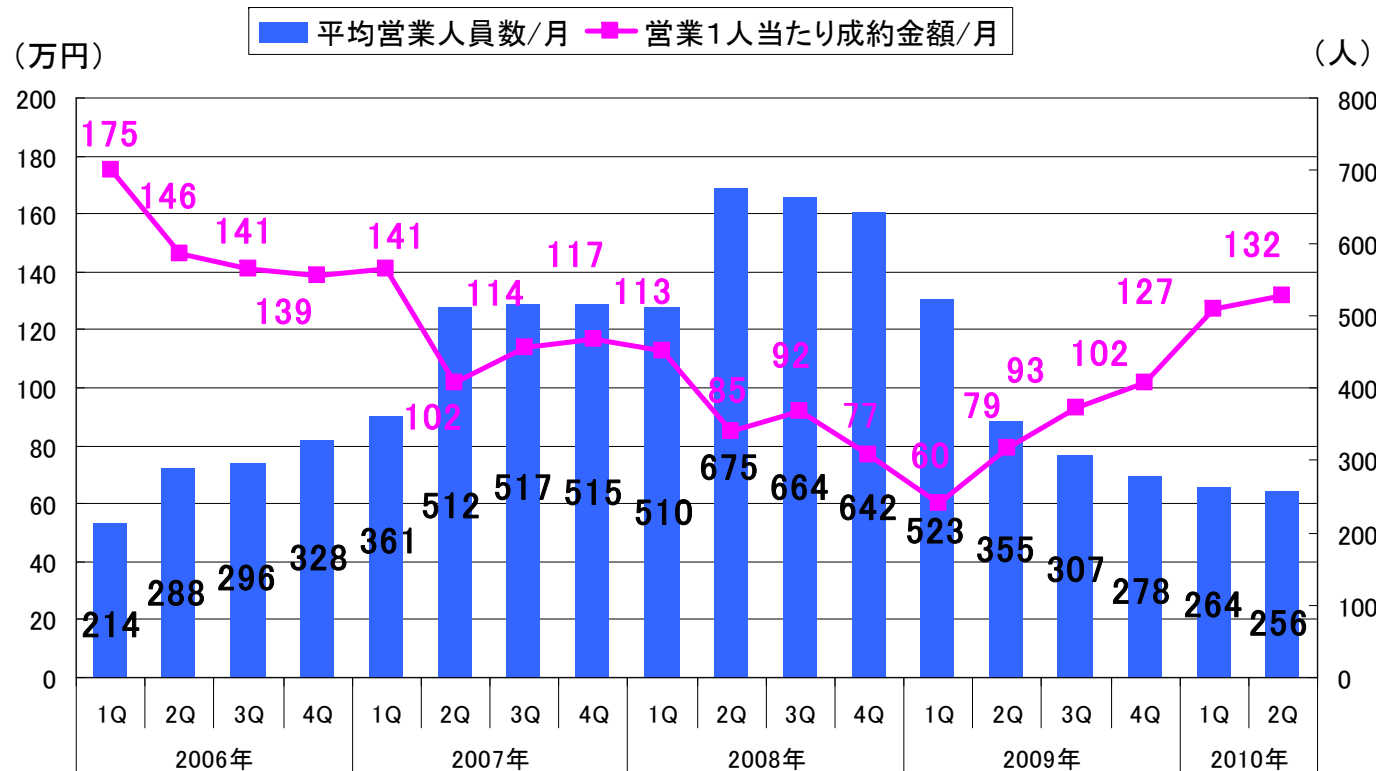


09年からは上昇しているが、まだ08年より低い水準
↓
下半期の課題

Ⅱ-6 Productivity

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】利益体質を確立するため生産性向上を経営の柱に



営業要員の補充が遅れている

一人当たり成約金額は上がってきているが、目標である06年より低い水準

↓
300人・180万円/月の体制作りを急ぐ

Ⅱ-7 Professional (1)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】オペレーションのプロからコンサルタントのプロへ

求人数に頼らない質の高いコンサルティングで成約を伸ばす

	09年12月期 1～6月	10年12月期 1～6月	前年同期比
新規求人数	13,916	14,095	+ 1.3%
成約数	1,287	1,457	+13.2%
成約率	9.2%	10.3%	+1.1P

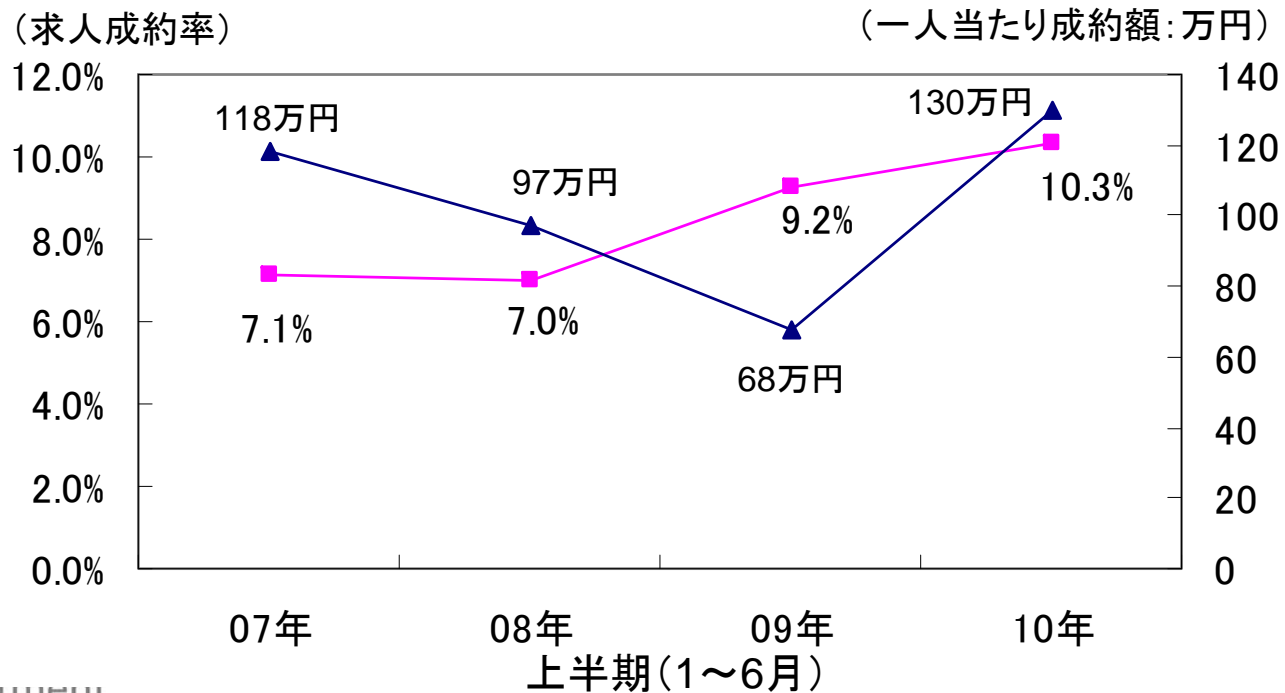
Ⅱ-8 Professional (2)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

【目標】コンサルタントのプロ化により 求人成約率と生産性の向上を目指す

求人成約率と営業一人当たり月成約額の推移ー上半期比較ー

■ 求人成約率(期中平均) ▲ 一人当たり月成約額(期中平均)



Ⅱ-9 International (1)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

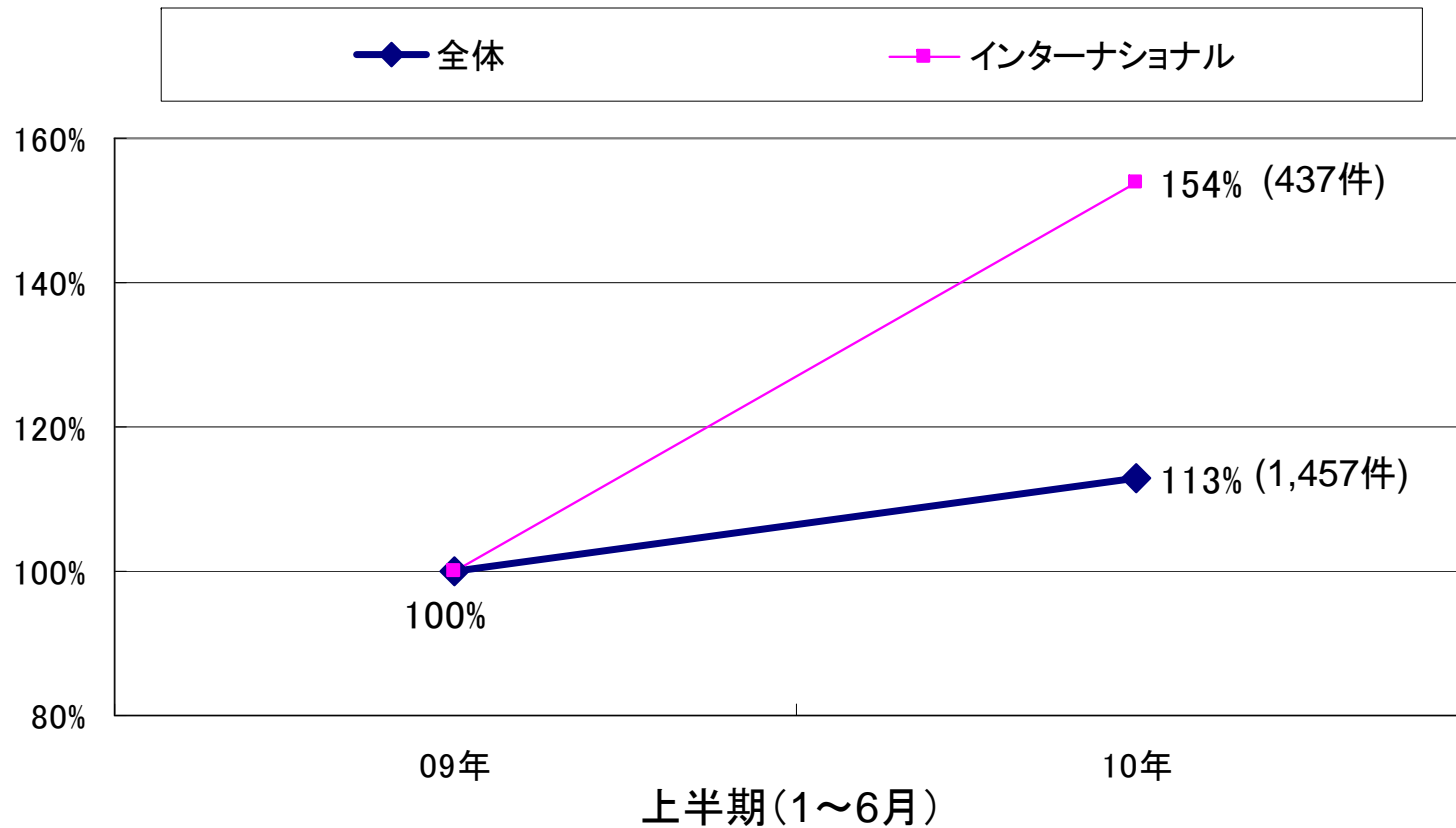
【目標】JACの特長を強調。インターナショナル領域事業を更に強化し、経済のグローバル化へ対応

- **国内外資系企業の圧倒的なシェア拡大を目標に、専任担当部署とエキスパート担当者を強化**
- **インターナショナルDiv.に海外展開専門の営業担当を配置し、日系グローバル企業の海外関連求人の開拓を強化**
- **海外JACグループと連携し、高額案件の成約を強化**
- **国内日系一般企業にグローバル人材を供給**

Ⅱ-10 International (2)

Ⅱ. 上半期の取り組みとその結果

国際的成約件数の伸び (前年同期比較)





I 2010年12月期上半期決算概要と
マーケット分析

II 上半期の取り組みとその結果

III 今後の取り組みと通期業績見通し

IV その他参考資料

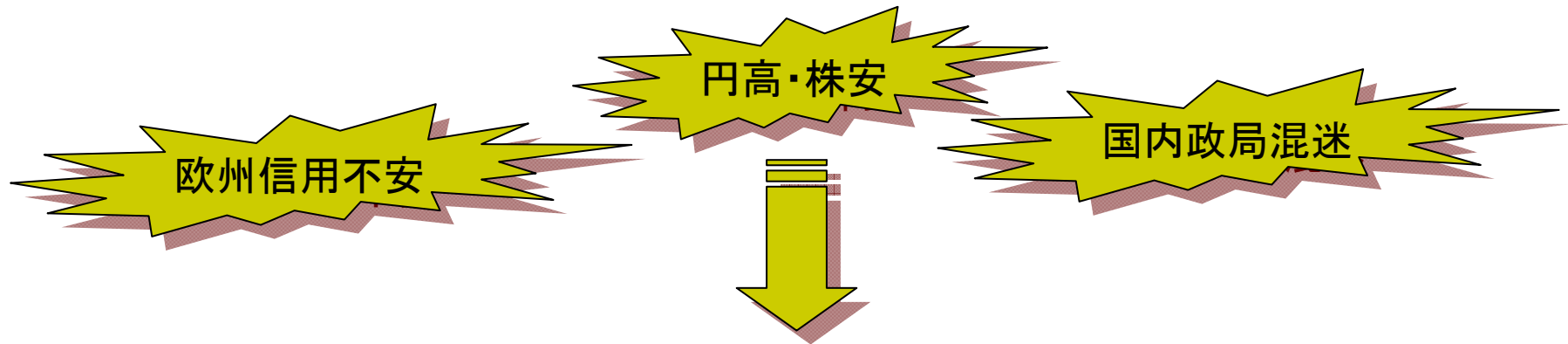
Ⅲ-1 今後の取り組みと方向性

Ⅲ. 今後の取り組みと通期業績見通し

- **PPP&Iを事業の根幹に位置付ける。**
- **中間価格帯の求人コンサルタント制に対応し、成約単価をアップする。**
- **低価格帯では、マーケットゾーンを絞り効率化を徹底する。**
- **Global/Internationalと中間価格帯では、国内シェアNo.1を目指す。**
- **コストは、全社・全部署で精査徹底を継続する。**

Ⅲ-2 下半期の指針

Ⅲ. 今後の取り組みと通期業績見通し



- **PPP&Iの更なる強化を必須とする。**
- **利益率を重視した組織作りに集中し、更なる生産性向上を図る。**
- **どのようなマーケット状況でも十分な利益を確保できる体制を作る。**

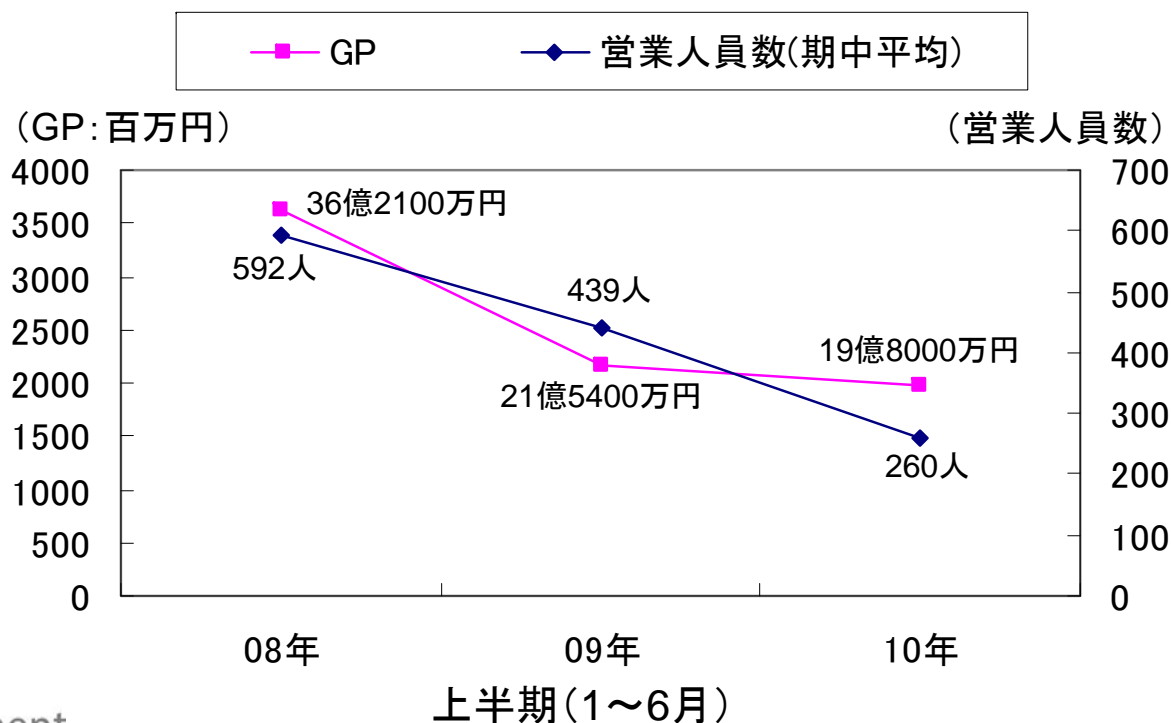
Ⅲ-3 下半期の課題

Ⅲ. 今後の取り組みと通期業績見通し

営業要員の中途採用

全社的に採用態勢を強化し、上場企業として適切な規模の回復を図る。営業300人の体制作りを急ぎ、新卒採用についても12年入社から再開する予定。

売上総利益(GP)と営業人員数の推移—上半期比較—



Ⅲ-4 下半期と今後の課題

Ⅲ. 今後の取り組みと通期業績見通し

成約単価のアップ

コンサルタント制の精度向上により、中間価格帯(単価500～1000万円)の成約比率を高める。

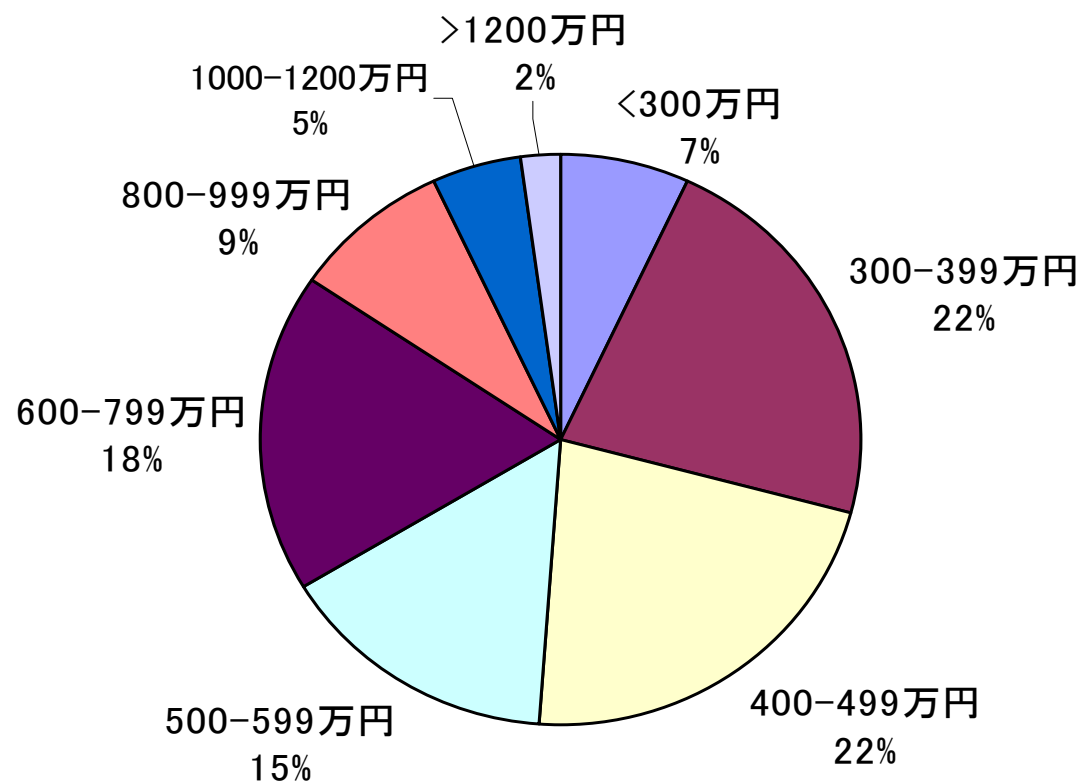


現状の42%から60%以上を目標に

平均成約単価は現状の140万円から180万円を目標に

決定年収の分布

10年上半期(1～6月)



Ⅲ-5 2010年12月期 通期業績見通し (昨年比)

Ⅲ. 今後の取り組みと通期業績見通し

(単位:百万円)

	09年12月期 通期実績	10年12月期 通期予想	前年同期 差額	前年同期 比
売上高	4,231	3,985	△ 246	94.2%
人材紹介事業	3,776	3,710	△ 66	98.3%
人材派遣事業	455	274	△ 181	60.2%
売上総利益	3,877	3,751	△ 126	96.8%
営業利益・損失(△)	△ 736	349	1,085	—
経常利益・損失(△)	△ 729	350	1,079	—
当期純利益・損失(△)	△ 773	329	1,102	—
1株当たり配当金	0.00円	0.00円	—	—

自己資本充実のために、2010年12月期の期末配当予想につきましては無配当とさせていただきます。



I 2010年12月期上半期決算概要と
マーケット分析

II 上半期の取り組みとその結果

III 今後の取り組みと通期業績見通し

IV その他参考資料

IV-1 社会貢献

IV. その他参考資料

● PPP Project

„ One Placement creates one Plant to save the Planet ”

CO₂削減、地球温暖化防止への貢献

- ・2008年度から会社設立20周年の記念プロジェクトとして実施
- ・バリ島に、転職をご支援できた方の数の苗木を植樹 ⇒ 2010年6月末現在：約 9,000本



● 社員育児支援 Project

少子化対策への貢献

- ・子供を持つ社員が育児と仕事を両立できる環境づくりの一環として2007年4月から実施
- ・育児手当金を支給 上限5万円/月 × 12ヶ月=60万円/年 (子一人当たり)

IV-2 3ヶ年対比数値一覧

IV. その他参考資料

	2007年 通期実績	2008年 通期実績	2009年 通期実績	2010年 上半期実績
営業関連数値				
売上総利益(GP:百万円)	6,760	7,144	3,877	1,980
営業一人当たり月平均成約額(万円)	117	90	80	130
成約単価(万円)	143	143	137	139
従業員項目(人)				
期末従業員数	654	810	395	360
営業人員数	505	629	276	254

本資料お取扱い上のご注意

本資料は株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントの事業及び業界動向についての株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくはいまだに知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に対する表明は、2010年8月18日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメントにより2010年8月18日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表記の記載をも更新し、変更するものではありません。

資料に関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

お問い合わせ先;

広報・IR室 電話 03-5259-6926 もしくは、メール ir@jac-recruitment.jp

2010年12月期 第2四半期決算説明会

株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント

<http://corp.jac-recruitment.jp>

2010年8月18日